

成果の説明書

(氏名) 西沢淳男	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>研究として、前年度から引き続き東京大学史料編纂所に所蔵されている「代官竹垣直道日記」の翻刻作業である。日記は古代・中世史研究においてはよく利用されるものであるが、近世史研究においても近年利用が活発になってきている。日記には公務は勿論、その時代の生活・文化・風俗や各種通達の写しなど多岐にわたっており、史料翻刻は学会の共有財産として広く活用されていくべきものとして、翻刻の掲載と公開をはじめた。日記は文字が難解な上に紙幅の都合で、学内学会機関誌(『地域政策研究』)に半年分(1冊)の翻刻を発表した。</p> <p>また、「竹垣日記」同時代日記の対比検討史料として東京大学法学部法制史資料室蔵「飛驒郡代豊田友直日記」について研究会を組織して翻刻刊行のための作業を開始し、第一冊目(天保9年)の校正作業を進行中、第二冊目(天保10年)を翻刻中である。</p> <p>古文書講座で輪読・翻刻中の国立公文書館蔵「留守居手控」を利用し、『大奥の煤納・豆囃子と胴上』と題する論文(『法政史学』89号)を発表し、無批判に利用されてきた戦前の元女中による回顧談・聞書を考証し、史料に基づく儀礼を再現した。</p> <p>地域貢献として、①さいたま市立博物館(旧坂東家住宅見沼くらしっく館)の依頼により坂東家と加田家新田について調査研究し、その成果を「見沼田んぼと加田屋新田」と題して同所において講演をした。</p> <p>②長崎市立歴史民俗資料館学芸員へ長崎代官末次平蔵についての専門的助言をした。</p> <p>③30年4月に開館する川口市歴史自然資料館における展示・キャプション及び施設利用法について、教育委員会への助言・指導をした。</p> <p>社会貢献として、埼玉県川口市の文化財保護審議会委員及び川口市遺跡調査会理事として、市の文化財保護行政について助言・指導をし、埋蔵文化財調査について指導・監督した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>高崎経済大学地域政策学会長として会務を総括し、Web上に卒論全タイトルの掲載に変更、学会誌送付先の抜本的見直しをした。</p> <p>法政大学大学院において、博士論文指導をした。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>同時代期の幕臣(代官)日記の比較検討のため、翻刻成果公開中である「代官竹垣直道日記」と併行して、一昨年度より着手した「飛驒郡代豊田友直日記」の翻刻を進めていきたい。同時代、且親交があり同職の幕臣日記は希有であり、別に豊田友直の実父「久須美祐明日記」も刊行され、日記を総合的に比較・分析し、地方文書からではみえてこない幕臣の心性、施策を明らかにしていきたい。</p>	